

千代田区の都市計画・まちづくりに関する二番町（日テレ通り）、 外神田（秋葉原）、神田警察通りの住民による共同声明

千代田区では近年、地域の人々の様々な声を十分に吸い上げず、住民に対する説明やその手順も不十分なままで、一部事業者の優遇や、開発ありきとしか思えないような地区計画の変更や地域開発を、強引と言わざるを得ないやり方で進めています。

私たちは、このような都市計画・まちづくりの進め方に大きな危機感を抱き、ここに各地域の住民による共同声明を發表します。

1 二番町（日テレ通り）の地区計画変更案について

二番町には、街並みを守るためにビル高層化に住民が強く反対し、その結果、ビル高さを最高でも60mに制限する地区計画が作られました。千代田区都市計画マスタープランでも番町地域では中層・中高層の落ち着いた住環境を重視するまちづくり方針が掲げられています。ところが今、千代田区は、地区最大の地権者である日本テレビだけに対し、特別に90mの超高層ビル建設を許すために二番町地区計画を変更しようとしています。

本年1月26日に行われた都市計画法16条1項に基づく公聴会では、公述申出が約70件あり、そのうち約半数が反対意見でした。3月3日の千代田区議会環境・まちづくり特別委員会において、「都市計画案に対する地域合意が不十分であり、事業の公共性を確認しながら今後地域を二分することがないように合意形成を図っていける協議の場を検討すること」等が委員会集約として取りまとめられました。

私たちは、都市計画の決定権者であり、まちづくりの総合調整者であるべき樋口高顕千代田区長に対して、反対が強かった日本テレビ所有地の高さ制限を90メートルに緩和する区の二番町地区計画変更案を撤回するように求めます。

2 外神田（秋葉原）のまちづくりについて

秋葉原周辺の外神田エリアでは、コロナ後の「建築費高騰」や「オフィス空室率の上昇」

を考慮しないなど問題を抱えたまま、秋葉原らしい街の姿を大幅に造り変え、170mもの超高層ビルを建てる大開発が進められようとしています。計画の再検討や投資効果の検証とその説明も十分ではなく、権利者の同意率が低いまま、強引に都市計画決定がなされれば、地域が分断され、秋葉原の良さが失われることとなります。世界的な知名度のある秋葉原の将来を左右する問題になっています。

本年2月10日行われた外神田（秋葉原）の公聴会では、公述申出が約100件あり、そのうち6割以上が反対意見でした。再開発地域に含まれる区有施設の建て替えや区道廃止についても説明不足、情報不足であるとの指摘がなされました。3月3日の千代田区議会環境・まちづくり特別委員会において、「公聴会で公述された内容を都市計画案に反映させること」「区有施設を多く含んでいることから今後、公共性、公益性を区民と情報共有するべきであること」等が委員会集約として取りまとめられました。

私たちは、樋口高顕千代田区長に対して、一度立ち止まり、秋葉原の個性を生かすまちづくりを住民の合意を得て進めるために情報共有を徹底し、賛成・反対の立場を越えて地域の合意形成を図る場を設けるように求めます。

3 神田警察通りのイチョウ伐採について

千代田区は、静かなビジネス街の神田警察通りの活性化を名目に、その必然性や投資効果の検証が不十分なまま、当初のガイドラインでは「緑の十字路」として生かすとしていたイチョウの街路樹を伐採すると決めました。近隣住民から反対意見が出る中、区はイチョウの街路樹伐採を、昨年4月に突如強行しました。その後、地域住民が強く反対し、伐採は一時中断していました。しかし、2月6日未明、樋口高顕千代田区長の指示の下、イチョウを伐採せずに道路整備をすることを求めている近隣住民に何ら知らせることなく、イチョウ並木のうち4本を突如として伐採しました。近隣住民から反対意見が出て、住民訴訟が東京地裁に係属している中、抜き打ちでイチョウ伐採を強行することは暴挙と言わざるを得ません。樋口高顕千代田区長は、抗議に区役所に赴いた区民からの抗議文を受け取らずに「粛々と進める」と繰り返しました。自らの意見と異なる区民の声に耳を傾けず、イチョウの伐採を強行する樋口高顕千代田区長の言動は、公平性、中立性が求められる行政の責任者、区民の代表者として甚だしく不適切です。

私たちは、樋口高顕千代田区長に対して、神田警察通りのイチョウを伐採する工事を停止し、イチョウを保存して道路整備を進めるように求めます。

4 区民の声が届く千代田区政の実現を

千代田区は、江戸以来、下町も山の手も共に個性と風格あるまちまちを歴史的に有し、先人たちがその文化と環境を大切に育んできた土地柄です。番町の青空や緑のある街並みは、一度失えば取り戻せないものです。神田警察通りのイチョウ並木はまちの風格を表すものです。秋葉原にはこれまで育ててきたまちの個性があります。今、千代田区は、それぞれのまちの価値ある個性を消し去る計画を強行しようとしています。

私たちは、樋口高顕千代田区長に対して、先人たちが育んできた文化と環境を守り、次の世代に引き継いでいけるように、住民の多様な意見に耳を傾けるように強く求めます。

2023年3月13日

千代田区民の声を届ける会
代表 堀 義 人

千代田有志の会
代表 石 丸 俊 之

神田警察通りの街路樹を守る会
発起人代表 瀧 本 幾 子

<連絡先>

千代田区民の声を届ける会事務局

E-mail: sensei_info@ml.globis.co.jp

電 話：090-5585-8132（担当辻端）